
第2回 三朝町議会定例会会議録（第4日）

令和3年3月8日（月曜日）

議事日程

令和3年3月8日 午前10時開議

日程第1 一般質問

牧 田 武 文 議員
藤 井 克 孝 議員
山 田 道 治 議員
松 原 成 利 議員
山 口 博 議員

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

牧 田 武 文 議員
藤 井 克 孝 議員
山 田 道 治 議員
松 原 成 利 議員
山 口 博 議員

出席議員（12名）

1番 松原成利	2番 松原茂隆
3番 石田恭二	4番 吉田道明
5番 山口博	6番 藤井克孝
7番 遠藤勝太郎	8番 福田茂樹
9番 平井満博	10番 山田道治
11番 牧田武文	12番 清水成真

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

事務局長 小 椋 泰 志 事務局長補佐 永 田 真由美

説明のため出席した者の職氏名

町長	松 浦 弘 幸	副町長	赤 坂 英 樹
教育長	西 田 寛 司	総務課長	椎 名 克 秀
地域振興監	青 木 大 雄	会計管理者	佐々木 敦 宏
財政課長	吉 川 徹	町民課長	朝 倉 紀 夫
建設水道課長	藤 井 和 正	健康福祉課長	矢 吹 和 美
観光交流課長	大 村 真優美	農林課長	安 田 寛
総務課参事	河 村 明 浩	教育総務課長	山 中 恵 子
社会教育課長	山 本 達 哉	図書館長	新 寛

午前 9 時 5 8 分開議

○議長（清水 成真君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は 12 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第 1 一般質問

○議長（清水 成真君） 日程第 1、一般質問を行います。

一般質問は、5 名の方から通告を受けております。日程の順序により、これを許します。

なお、質問者の終わりにはまた清掃を行いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

初めに、11 番、牧田武文議員のコロナ終息後を見据えた町長の今後のまちづくりについての一般質問を許します。

牧田武文議員。

○議員（11番 牧田 武文君） おはようございます。今日は5人の、私含めて質問者がおられるようですが、先陣を切って、質問は簡単ですが、答弁のほう、しっかりとはっきりと分かりやすく、よろしくお願いいたします。

そういたしますと、コロナ終息後を見据えた町長の今後のまちづくりについてを質問したいと思います。昨年来、まちづくりの課題がコロナウイルス感染症対策一辺倒となり、本来目指してきたまちづくりビジョンはなかなか推進できていない現状があります。コロナウイルス感染症の終息は、いかなる課題にも最優先して取り組む必要はもちろんですし、医療を提供する方々、感染症拡大防止に献身的に頑張っておられる方々に感謝と敬意を忘れてはならないと思います。また、本町の基幹産業である観光業に加えて、飲食業に従事されている皆さんには、不要不急の外出自粛の影響で大きな打撃を受けておられます。その心の痛みを共有し、一緒になって、それらの産業振興対策に取り組まなければならないと感じているところであります。

そこで、まず、観光振興における町長の考えをお聞きし、温泉の振興ということで、ハード面においてはすーはー温泉がオープンしましたが、コロナ禍において、その機能が十分に満たされていないと思います。現状の利用状況はどのようでしょうか。また、こうした中において、今後とも誘客の核として捉えても問題ないでしょうか。

私は、まだまだハード面の整備が必要だと考えております。以前に質問しましたが、空き地同様の駐車場の解消、温泉街の魅力アップのため、温泉街の駐車場のスペースに大浴場を建設してはどうかと考えておりますので、町長の考えをお伺いいたします。

最後に、町長就任1期4年間も締めくくりの時期を迎えています。この1期4年を振り返って反省すべき点、評価できる点など総括していただき、コロナ禍において納得できなかった部分、引き継ぐ課題は多々あると思います。2期目に出馬、先頭に立っての町政推進について、議場を通じて、町民に力強い意欲をお聞かせいただきたいと思います。よろしく。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） おはようございます。牧田議員のコロナ終息後を見据えた町長の今後のまちづくりについての御質問にお答えをいたします。

議員からは、すーはー温泉の利用状況についての御質問をいただきました。すーはー温泉は、6月20日にオープンをいたしまして、8か月を今過ぎたところでございます。現在、1月末ですが、2,000人ほどの利用がございました。コロナの影響をまともに受けてしまいまして、当初見込みをしておりました半分というふうな程度となっております。しかしながら、滞在され

ているお客さんだとか、それから近隣の市町から日帰りの利用される方も増えてきておりまして、最初のPR、ちょっと抑えてかかりましたけど、効果も出てきてるんじゃないかなというふうに思います。私も自分の中で勝手にコロナ予防ということで、月2回熱気浴に、ブランナル含めて、大体行っておりますが、免疫機能を高めるということで、自分の中ではそういうことを信じて、予防を兼ねて行っております。その中で、この前も鳥取市から来られたお客さんがおられて、もうずっと通ってますみたいなことをいろいろとお話しております。

次に、議員からは多目的駐車場に大浴場を建設してはどうかというふうな御意見を頂戴をいたしました。本当にコロナ禍において、行動制限や社会の経済状況が変わってきておりまして、心身ともに疲弊をしている、そんな方が多くなってきているというふうな、そういう思いの中で、温泉の利用の多様化ということが求められるというふうに思っております。御存じのように、三朝温泉はラドンの免疫力、そして自然治癒力を高める効果というものを高く評価をしていただいております。旅館での日帰り入浴にプラスをして、町民や観光客の皆さんが楽しめる、そして、ある程度の規模を有する温泉の施設がやはり三朝温泉には必要だというふうに思っております。これは同時に、すーは一温泉や既存の温泉の施設、足湯や、そして飲食店さん、商店さん、そういったところの利用を促進をすることにもなりますし、イベントの開催によって温泉地に人を呼び込む、そういう仕掛けづくりにもなってまいります。そして何よりも、町民皆さんがラドン温泉の恩恵を受けて、健康増進につなげていく、そういうことも必要だと思っておりますし、これまでも多くの方々からそういったような要望も聞いてきております。議員が言われました場所等について、提案をいただきました場所を含めて、三朝温泉の区域の中で検討することというふうになると思いますし、民間活力を導入もしていくということも当然に考える必要があるというふうに思っております。いずれにしても、町にとっては長年構想にあった施設でもありますので、コロナ終息後の観光を取り巻く状況や町の財政状況等を踏まえながら、戦略として計画を前進をしていきたいというふうに考えております。

次に、1期4年の総括と、そして2期目の出馬、先頭に立っての町政の推進について、その意欲を伺うということでありました。私に取り組んできました事業、そしてまちづくりについてはようやくスタートラインに立てたところだというふうに思っております。これから一つ一つを確実に実行をしていく、そのためにまだまだ多くの課題があります。町長に就任して1年目に策定をしました総合計画の政策を実行、遂行することが今、私の責務というふうに思っております。今年秋の任期満了に伴う町長選挙に、2期目に挑戦、立候補することを決意をいたしました。

町長に就任して、これまで多くの方々の御理解と御支援をいただいて、町政に取り組んでまい

りました。これまで、小学校の統合を実行して、そして、光ケーブル化による高速情報通信ネットワーク整備も3年度で完了することになります。町内の生活交通を町の実情に合った交通体系に転換をして、町民の皆さんの利便性を高める、そういう改正も今年の秋からスタートをさせます。新小学校の整備も様々な議論をいただいて、将来の中学校との連携を含めて計画を決定をして、令和6年の完成を目指すこととなります。これらは、町民に活用される仕組みづくり、子供たちが学ぶ環境づくり、将来への人材育成のプログラムなど、多くの課題を整理をして進めていく必要があります。さらには、人口対策や高齢化による産業への影響、そして地域、集落の課題、健康増進等、持続可能なまちづくりは待ったなしであります。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響は、観光業界をはじめとして、計り知れないものがあります。これまでも可能な対策は行ってはきておりますが、終息が見込まれた後に、観光をはじめとした町内経済の回復、新たな生活様式への普及対応、そしてオンライン社会への対応等、町内の経済が好転に向かうまでは私の責務とも思っております。

この3年5か月を振り返って、まずは町政の信頼性を高めるために、情報発信の改善に努めてまいりました。広報の在り方、ソーシャルネットワークの活用、そして防災無線等の改善点、まだまだ多くございます。そして、人の動きを大切にまいりました。人が動けば町が動き、活力につながる、そのことを信念に置いて取り組んでまいりました。協働のまちづくり、笑顔と元気があふれ輝く町への前進には、もっともっと努力が必要だというふうに思っております。町民の皆様からの御意見は謙虚に受け止めて、そして、信頼される行政を目指し、勇往邁進、努力してまいります。議会の皆様、町民の皆様に御理解をいただきますようお願いを申し上げ、私の答弁といたします。

○議長（清水 成真君） 牧田議員。

○議員（11番 牧田 武文君） コロナ禍、ワクチン接種、これからいよいよ始まってくるのではないかと思います。まだまだ計画とか、そういうことを立てておられるかないか分かんんですけど、今後のスケジュールっていうですか、がもし分かれば。なかなか、これは町と県が一体となってやるようなことじゃないかと思うんです、はっきりしたことは分かりません。だけど、それが結局今、町民が一番思っとるのは、これがいつ頃されるか、それから医療関係が最初とか、いろんいうわさが飛んでおります。それから高齢者とか、いろいろありますけども、そういう何ですか、スケジュールがもしできておれば、分かる範囲内で、できとらんならできとらんで結構です。もしあれば、分かる範囲内でいいですので、ちょっと答弁のほうよろしく願いいたします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 現在の分かる範囲の状況で答弁をさせていただきたいと思います。

議員が言われましたように、ワクチンの接種については国、県の方向の中で、町のほうが事業主体として接種を進めていくことになります。先週の新聞にも鳥取県のワクチンの配分日程が出ておりました。先週の金曜日に決定されたようで、三朝町では4月の19日に配布というふうな日程になっております。一箱975回分、2回接種するわけですから、約487人分ということになるわけです。ようやくそのことが決まりまして、これまでいろいろと準備は進めてきました。接種券の配布については、3月末に各町民の皆様、対象者の皆様に送るようにしております。

そして、接種のやり方としては、今のところ集団接種と個別接種と、それから高齢者施設の接種ということになろうかというふうに思っております。現在調整中でありまして、医療従事者、いわゆるお医者さん、看護師さんの確保ということを調整をしております。町内の医療機関、開業医さん、そして中部医師会からの医師の派遣ということもございまして、また、中部地域の中で共同接種ということも現在ちょっと調整をしておりますので、それがまだちょっと決まっておられませんので、なかなかスケジュールはまだ決まっておられません。ただ、4月の19日にワクチンが配分されるということが決まりましたので、そのワクチンについての接種については、早急にこれから決めていきたいと思っております。

国のほうでは、まず医療従事者を先行してワクチンを接種をするということになっておりまして、それが5月前半に終わる見込みだという、現在の状況です。そして、65歳以上の高齢者については、6月末までに終える見込みだということでございまして、多分延びてくるような、これまでの状況から見ると、そういったこともありますので、そういったワクチンの配分等の状況を見ながら、町の計画をこれから詰めていきたいというふうに思っております。その都度、決定次第、速やかにお知らせをして対応をしていくということになろうかと思っております。集団接種については、文化ホール会場を計画をしておるところでございまして、以上です。

○議長（清水 成真君） 牧田議員。

○議員（11番 牧田 武文君） じゃあ、まだ何もこれって決まってるっちゃうわけではないというふうなことです。結構です。

そして、次に、大浴場の件で答弁されたですけど、温泉駐車場の、大浴場の件です。この質問は先々回だったですかね、同じこと質問しとります、はっきり言って。そのときには結局、町長も前向きだと、その件についてはというような答弁をいただいておりますし、今回も似通ったような答弁。やっぱり、何ですか、というのは、特に思ったのは、今回、このコロナ禍で旅館が休みが多かったですわ。それから、町民が行きやすいつて言ったらおかしいですけど、ジーライオ

ン、指定管理者になってからは地元のお客さんも遠のいたのですが、風呂入りに行くのは。これがまた休みが多うて、またよけ足が遠のいてしまったと。町民はどこに行くかと、河原風呂ですか、株湯もありますけど、なかなか行きにくいもんだって。だから、ぜひやっぱり、大浴場、大浴場って、ごっつい立派な大きなもんじゃないです、大浴場って言っただけであって。これはぜひやっぱりやってもらわないけんと思うです。私も今期限りで、このことだけが結局気になっとなって、今日町長のさっきの答弁で、最後のいろいろ話をされたですけど、この中で一つ欠けっとなって、するっちゅうことをはっきり言われなんだ。できりゃ、この件、もう一遍ちょっと考えを聞かせていただきたいと思います、はっきり、するかせんか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 温泉の健康増進のための利用していきたいということは前々から申しおりました。令和3年度からそういったことを含めて、チームをつくって検討するような体制を取っていきたいというふうに思っておりますので、当然その中に、議員から提案がありました温泉入浴施設というのは入ってくるというふうに思いますので、そういった計画づくりを進めていきたいと思います。

○議長（清水 成真君） 牧田議員。

○議員（11番 牧田 武文君） これはぜひともよろしく願います。というのが、やっぱり地元の人もほんに、正直なところ、行くところがないですわ、なかなか。だけ、そういう声も高いですし、また地元、温泉街の旅館の方なんかぜひやってもらいたいっちゅう声も聞きますので、これはぜひやっていたきたいと思います。

そして、最後に、町長の1期4年、これもいよいよ、先ほど答弁いただいたですけど、私から個人的に思うのは、4年間のうちに最初、学校統合、大きな問題です。それから、新しい校舎の新築、来年度ですか、来年度から実施設計に入って、再来年、1年後からはもう建屋に入ると、建設に、というようなスケジュールじゃないかと思うんですけども、大したもんだと、よくやられたと思っております。それから、何ですか、通信ネットワーク、大きな大きな3つの、成し遂げられたっちゅうことは本当に素晴らしいことだと敬意を表するところでございます。

それから、先ほどの答弁で、次は出馬をはっきりやるということを聞きまして、ひとつ安心してとるんですけども、何ととっても、コロナの後遺症っていうのは相当きついのが残ってくるのではないかと思います。2期目に入られてもなかなか大変だと思いますけれども、ぜひぜひ2期目に向けて、また町民のために頑張っていたきたいと思いますので、よろしく願います。以上で終わります。

○議長（清水 成真君） 答弁はいいですか。

○議員（11番 牧田 武文君） いや、答弁、議員のみんながはっきり今日は聞けよっていわれとりますので、もう一度はっきり出馬、お願いします。

○町長（松浦 弘幸君） 改めて、2期目に挑戦を、立候補を決意をしましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議員（11番 牧田 武文君） じゃあ、頑張ってください。以上で終わります。

○議長（清水 成真君） 以上で牧田武文議員の一般質問を終わります。

○議長（清水 成真君） 清掃します。しばらくお待ちください。しばらく休憩します。

午前10時21分休憩

午前10時22分再開

○議長（清水 成真君） 再開します。

次に、6番、藤井克孝議員の新型コロナウイルスワクチン接種についての一般質問を許します。
藤井克孝議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） おはようございます。質問に入る前に、質問第1回目から、牧田議員のほうから町長へ出馬、第2期の出馬をするっちゅうめでたい話を聞きまして、共に、なら、秋は頑張っって、町民のために力いっぱい頑張っって、なら、まいりましょう。

それから、3月11日、10年を迎える、東日本大震災から10年と。また2月13日、福島、宮城県で最大震度6強の地震、また今年度1月7日、新型コロナ、政府からの及び緊急事態宣言と、また亡くなられた方、災害に遭われた方にお見舞いとお悔やみを申し上げます。

それでは、新型コロナウイルスワクチン接種について町長に伺うものであります。新型コロナウイルス感染症ワクチンについて、厚生労働省の専門部会は、12日、有効性と安全性が確認されたとして、国が審査手続を簡略化して特例承認することを了承した。国内で初めて実用化される新型コロナワクチンとなる。養護老人ホームでは、コロナ禍で家族や友人と直接会えない寂しさもあります。鳥取県内でも交流の場さえ閉ざされ、外出控えによる高齢者の孤立が懸念されている。高齢者施設でも以前のように面会できず、長期間家族に会えないことで、認知症が進んだり体調が悪化したりする高齢者もいます。本町では、三喜苑では70人、なの花では9人、仁の里9人、みのりかじか18人が入居されています。また、訪問介護、町内では68人、訪問看護50人です。ワクチン接種対象、全三朝町民では約6,400人、うち6歳以上が約2,5

00人であります。どのように本町では進めていかれるのか、町長にお伺いするものであります。

1番目に町内の介護施設の入居者への接種、2番目に訪問介護者への接種、3番目に訪問看護者への接種、4番目、町民、65歳以上約2,500人の接種、5番目に接種相談の窓口はということですね。この5点について、町長に、明白に町民に分かるように答弁お願いいたします。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 藤井議員の新型コロナウイルスワクチン接種についての御質問についてお答えをいたします。

議員からは、三朝町における新型コロナウイルスワクチン接種の進め方について御質問をいただきました。現状で分かる範囲でお答えをさせていただきたいと思っております。新型コロナウイルスワクチンの接種については、医療従事者を対象にした先行接種が、国内においては2月17日から始まっておりますし、県についても2月の22日から始まっております。本町では、国が定める接種のスケジュールというのがございまして、それに基づきまして、65歳からの高齢者への接種から開始をすることになると思っております。

接種券を発送する時期は3月の下旬としておりまして、今、庁内に、役場の中にワクチンの接種の推進チームを設けて準備を進めております。先週、3月5日に県がワクチンの第1次の配分計画を発表をいたしまして、本町では4月の19日に配分をされるということになって、そのスケジュールまで決まっております。それを基にしてこれからスケジュールを組んでいきたいというふうに思っておりますけど、まず、接種の方法については、かかりつけのお医者さん、医療機関等で接種をしていただく個別接種と、そして文化ホールを会場とした集団接種を併用して行うということに計画をしております。そんなことで、県、そして中部の市町、そして中部医師会等、町内の医療関係者の皆さんと調整を図っております。

今回、ワクチンの配布日が決まりましたので、具体的に準備体制を確立をさせていくことにしていきたいと思っております。初めに、施設入所者や訪問介護者、そして訪問看護者への接種についてであります。町内の高齢者施設に入所しておられる65歳以上の高齢者の接種については、施設運営者の方々と協議をして、そして医療機関の御協力をいただいて、施設内で接種をしていただけるよう調整を進めてきております。そういったようなことになろうかと思っております。

また、在宅で訪問介護、訪問看護を受けておられる方については、かかりつけのお医者さんでの接種を希望される方が多いかというふうには思っておりますけど、これについても、今医師会さんと調整をしているところでございます。また、集団接種の場合は、送迎バス等の対応も考えておりますので、そういったことで対応していきたいというふうに思っております。高齢者の方

の接種の後については、国が示している接種の順位に基づいて順次接種券を送って、接種を実施をしていくことになります。

接種相談の窓口についてでございますが、ワクチン接種に関しての安全性、有効性、そういったことに不安をお持ちの方もまだまだ多いかと思っております。そういったような相談については、厚生労働省、県が専用のコールセンターを設置をして、電話での相談に当たるようになっておりますので、そこを活用していただきたいと思っております。町でも、接種の予約等については、町で専用電話を設置をすることにしております。ワクチンの接種については、詳細が決まっていく段階に応じてホームページや町報、チラシ等でお知らせをすることにしてありますし、相談や問合せについては順次対応をするよう、準備を進めております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（清水 成真君） 藤井議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） 細かい部分等はなかなか、まだそこまでは、接種等の窓口等の相談等もまだ進んでないというような、自分は理解をしてました。また、障害者にワクチン接種の正しい情報が行き渡るよう、きめ細かい方法を徹底することも一つの政策ではないかと、また思っています。

また、町長が分かる範囲内でいいので、答弁等をお願いいたします。市町村との連携した接種体制の構築、市町村や医師会との調整や助言等を積極的に、ある程度行われているのか、ちょっと分かる範囲内で答弁をお願いいたします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 医師会等々については、県のほうで、中部の総合事務所が音頭を取っていただいて、市町、それぞれ担当者レベルで、医師会も含めて調整をしておりますし、医師会のほうでも各医療機関さんからの対応状況等も把握されております。そういった中で、現在のところ進めてきておるとい状況でございます。

○議長（清水 成真君） 藤井議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） それで、コロナワクチン接種についてですけど、三朝町役場では3の課で対応するというので前回、多分全協だったですかいね、自分は聞いたと思うんだけど、専門部分でフリーダイヤルでワクチン接種に対応できるような、そういう部門等もやっぱり考えていくべきではないかと思えます。

また、鳥取県のほうで、町村ですけど、コロナワクチン接種体制確保事業で、全町民対象の生活支援チケット配布事業等、また未来に使える応援チケット等購入事業等も、いろいろそういう

政策を各町外では施策を考えておられますけど、そういうことも三朝町でもある程度、町民のためになるような策をやっぱり考えていかなきゃいけないと思いますけど、町長はどのようにお考えなのかお伺いします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 町のコールセンターについては、一番身近な話題から、専門的な話題から、いろいろと問合せがあることは想定しております。ただ、ワクチンに関する知識の専門的な部分になると、町の職員では対応できないところがありますので、やはりそれは国や県のコールセンター等を活用していただくということになると思います。町のほうでは、本当に予約のことだとか、身近なことだとか、そして、即答できないときにはまたお伝えするだとか、そんな様々な対応をコールセンターでする必要があるのかなというふうに思っておりますので、その部分については、対応するスタッフもいろいろと配置をしながら取り組んでいきたいというふうに思っております。まずは状況を見ながら、対応も改善はしていきたいと思います。想定する中では、やはりワクチンの副反応への不安だとか、それから今度は、予約の部分だとか、予約の日程の取り方だとか、そういった部分が最初集中しそうな感じはしております。十分な対応をしていきたいと思っております。

それから、後段に言われました、いわゆる応援チケットみたいなことは、私は考えておりません。コロナ対策で町内の中で、いろんな形での商品券だとか、いろんな観光部分での割引制度だとか、いろんな形で制度というか、町民の方に利用していただくような施策を同時に講じておりますので、ワクチン接種についてはもう接種をしていただくだけのことを、それを町民の方ができるだけ早く接種をしていただく、そこに傾注をしながら、そして、サブ的なそういったような応援キャンペーン的なものについては、既存の今のコロナ対応の利用キャンペーン等で併せてやれば、それでいいのかなというふうに思っております。

○議長（清水 成真君） 藤井議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） 町民が安心して接種、自分でもコロナワクチン接種についてはちょっと違和感、自分ではやっぱり本当で受けていいのか悪いのかっちゃうのも、自分ではやっぱり理解に苦しんでと思うんだけど、接種をして、コロナ対策を早く終をしていただきたいと、やっぱり自分はそれを願っています。それで、ぜひとも町民が安心して接種を受けるように、やっぱり町長も努力をして、町民に分かりやすいように、障害者の人たちにもやっぱり安心して接種を受けられるような方向で進んで、考えていただきたいと思います。この部分は以上で終わります。

○議長（清水 成真君） 次に、交通事故予防、減少についての一般質問を許します。

藤井克孝議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） 交通事故予防、削減について町長に伺うものであります。

全国では、交通事故数が38万1,237件、あおり運転が1万5,400件、鳥取県では、交通事故数628件、負傷者749件であります。本町では、倉吉鹿野線の大瀬地内から倉吉市大原間で歩道の整備が進められています。町内では信号機が9基設置されている中、若宮地内に設置されている交差点、円谷地内、葬儀場での逆走に出くわしますが、何も改善されません。早急に改善すべきではないでしょうか。

事故は大小にかかわらず、生命に関わると思います。本町では交通安全協会で協議されないのかお伺いします。1月に本泉地内で事故が起きた交差点への信号機の設置は難しいのか、協議するべきではないでしょうか。町民の安心・安全と運転者のために、町長はどのようにお考えなのか、お伺いいたします。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 藤井議員の交通事故予防、減少についての御質問にお答えをいたします。

初めに、国道179号の若宮から円谷間の逆走対策についての御質問をいただきました。本区間については、4車線化によりまして、倉吉方面と三朝方面への通行車線が完全に分離をされた形の道路となっております。逆走防止を、これまで倉吉警察署、そして道路管理者である鳥取県等と交差点の対策や誘導案内板の設置、そういった逆走防止対策が実施をされてきております。しかしながら、依然として逆走車がなくなるというのも実情でございます。これまで、平成29年度には、町と竹田地区の協議会の連名で、県に対して逆走車の対策についての要望をした経過もございますし、それを受けて、平成30年に県と倉吉警察署で進行方向を示す道路標示、路面標示や案内看板、車線分離のポールを設置するといったような対策も講じられてきております。また、今年2月に、斎場のほうから国道179号の出入口について、三朝方面の出口の部分になりますけど、車線分離のポールと看板の設置、また、倉吉方面の出口にはカラー舗装と路面矢印が設置をされております。これで逆走について、される方の防止ができるんじゃないかというふうな期待もしております。今後も、さらに状況を確認をしながら、県、警察と協議をして、安全性の向上に努めてまいりたいというふうに考えております。

次に、議員から、1月に本泉地内の交差点で発生をした事故について、信号機の設置の提案をいただいております。この事故は、交差点内で車両同士が衝突したというふうな事故でありまして、優先道路に進入をされる際に発生をしたものであります。地域の皆さん、住民の皆さんの御

意見も頂戴をしながら、町の交通安全協会で協議をしていただくことにしております。信号機の設置につきましては、その設置について必要性、また交通量等による設置の条件というのがありますので、それらを踏まえての対応ということになろうかというふうに思っております。もう一方で、事故防止の対策として、路面標示の設置等も有効かというふうに考えております。

最後に、町民の安心・安全と運転者のためにどのように考えられるかとの御質問をいただきました。全国的な傾向としては、ここ15年で交通事故の発生件数、そして死者数とも大きく減少をしてきております。これは、道路の改良や車の、いわゆる安全技術が高まったこと、さらにはシートベルトやチャイルドシートの着用義務化だといった様々な要因が考えられるわけです。しかしながら、何ととっても、やはり関係者の皆さんの地道な交通安全の啓発活動、運動の取組といったものが大きく寄与しているのではないかというふうに考えております。本町においても、年4回の交通安全運動期間においては、倉吉警察署、そして町の交通安全指導員協議会の皆さん、そして交通安全協会三朝支部の皆さん、さらにはPTA、保護者会の多くの皆さんの下での交通安全運動が推進をされてきております。一人一人が交通マナーを守っていただき、交通安全の意識を高めていただくよう、さらに持続した町民運動を展開をして、交通事故のない町を推進をしていきたいというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（清水 成真君） 藤井議員。

○議員（6番 藤井 克孝君） 今、町長からお伺いいたしました。また、逆走っっちゃうのはやっぱり高齢者等によく起きる運転で、高齢者の人たちの思い込み、やっぱり自分がもうそうだと思うたら、そのまま我が道を行くような感じで走行する。やっぱり逆走に出くわした時点で、自分のほうが被害者のような感じに思える。何で自分が、通っとるだいや、そこを、よけやというような感じにやっぱり思えると自分は思います。早急に、若宮地内の交差点でもやっぱり再度協議をされるべきではないかと思えます。

また、今さっきも町長から言われましたけど、各教育委員会、PTA、警察、道路管理者、関連して、また、3月から新入生等も入る中で、合同点検を、2年度でも何回協議されるのか、されてないのか、そこら辺をちょっと町長にお聞きしたいというのが、ここの辺はこのような感じで危ないとか、いろいろそういうのを事前に調査して、やっぱり必要なところは必要で、それを設置しなくちゃいけないと思います。それで、今、質問の中で、年何回協議等を踏まえてされとるのか、お伺いいたします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 交通指導員さんの会だとか、それから交通安全協会のそういった会で、交通安全推進運動の前に対して、それぞれのスローガンに合わせて、取組の確認をしていただいて、運動の方法も決めていただいております。ですから、私、細かくは、回数って言われましたけど、1年に何回という把握はしておりませんが、各交通安全運動推進期間の前、そして年度中間、また交通指導員さんについては年に数回とか、そういうことをされて、その報告という形でお聞きをしておりますので、やはりずっと積み重ねだというふうに思っております。町の職員も交通安全推進期間中は、学童が通学する時間に合わせて、主要な交差点に立っておりますし、また、日頃からそういった地域活動にも取り組んでおりますので、そういったことで御理解をいただけたらと思います。何回か、ぜひもって言われましたら、担当課長から報告をさせますけど、数字の部分なので、もしかしたら即答できないかも分かりませんが、御了解願いたいと思います。

○議長（清水 成真君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 合同点検についてでございます。まず、組織ごとに点検をされます。通学路の点検については教育委員会のほうでされますし、交通安全指導員についても、年1回点検をしていただいております。さらに、三朝支部の5つの分会がございまして、各分会ごとに点検をされ、年4回の会議のときに点検結果を出していただいて、対応に当たっているところでございます。以上です。

○議長（清水 成真君） 藤井議員、回数だけでしたら、事前に調査をしていただければなと思いますので。

藤井議員、どうぞ。

○議員（6番 藤井 克孝君） 今の課長のほうから言われましたけど、協議の中で、危ない箇所を、ここはこうにしたほうがいい、それを収集して、やっぱり必要なところは必要で設置をしたり、それなりにカラーゾーンとかでいろいろ分かるように、高齢者に優しい運転ができて、迷わないような、そういう策もやっぱり考えていかなきゃ、自分はいけないと思います。

それで、通行者の安全確保のために、また3月、4月から児童、生徒が安心・安全で、快適に道路を利用できるような策をやっぱり考えていただきたいと思います。

以上で質問を終わります。

○議長（清水 成真君） 以上で藤井克孝議員の一般質問を終わります。

しばらく休憩いたします。再開を11時5分といたします。

午前10時52分休憩

午前11時03分再開

○議長（清水 成真君） 再開します。

先ほどの質問につきまして、藤井議員より訂正の申出がありましたので、これを許します。自席で訂正ください。

○議員（6番 藤井 克孝君） すみません、質問事項の下段から2行目の「全町民では約6,400人（うち）」、ここを質問では「6歳以上」っっちゃうことを言いましたんだけど、「65歳」に訂正のほうをよろしく願いいたします。

○議長（清水 成真君） 藤井議員、すみません。そのところ、2行ですね、「ワクチン接種対象」から訂正として全部読んでいただけますか。そうすれば分かりやすいと思います。

○議員（6番 藤井 克孝君） 「全三朝町民では約6,400人（うち65歳以上約2,500人）」であります、どのように本町では進められているのかっっちゃうことで、「65歳」に変更をよろしく願いいたします。

○議長（清水 成真君） それでは、次に、10番、山田道治議員の民活導入の取組についての一般質問を許します。

山田道治議員。

○議員（10番 山田 道治君） 3番バッターとして、民活導入の取組について質問いたします。

平成17年に、この町を次の時代に引き継ぐために、自立に向けた変革のための行動計画が公表されました。行政をどうスリム化していくかという行動計画です。その中で、アウトソーシングの推進を基本とし、受皿となる民間組織の設立を促進するとありました。

以下、調理センター、図書館、文化ホールの3施設について伺います。平成27年に、第2次行動計画がスタートしました。これまでの10年間の検証がなされたと思いますが、どんな検証がなされたのか伺います。2次行動計画にもこれら3施設の民活導入が掲げられていて、令和2年に第3次行動計画がスタートしていますが、この5年間にどんな検証がなされたのか伺います。また、検証結果がどのように第3次行動計画に反映されているのか伺います。

第3次行動計画でも引き続き検討されることになっていますが、15年が過ぎ、20年を目指して検討するというものであります。検討速度が遅いと感じるのは私だけではないと思います。そこで、提案ですが、仮称、民活導入検討委員会を立ち上げて、検討されてはどうかと考えます。町長の考えを伺います。

検討委員会で突き詰めた検討の結果、民活導入は無理だという判断はあり得ると思っております。

第3次行動計画の終盤までに一度結論を出すべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 山田議員の民活導入の取組についての御質問にお答えをいたします。

これまでの検証についてであります。先ほども言われたとおり、平成17年度に行政システムの改革の指針となる自立に向けた行動計画を策定をして、町政の推進に取り組んできております。そして、第1次の計画では、10年間になります。10年間の計画をもって進めて、第2次では平成27年から31年までの5年間、そして第3次では令和2年から令和6年度までの5年というふうなことで計画を実行していくことにしております。

民間活力の導入につきましては、これまでプランナールみささや、そして多目的展示施設等の観光施設、そして賀茂保育園等々、9つの施設において、指定管理者制度を導入をしてきております。また、民間への事業委託では、学童保育や社会教育の事業等について、実施が可能なものから進めてきております。その他の施設や事務事業については、それぞれの所管する担当課の課題として事務を続けてきております。その中で、制度上の問題、民営化の効果、あるいは引受先の有無等整理をさせてきておりますが、また、それぞれの施設において、職員の配置といったこともありまして、継続して検討しているというところでございます。

議員からは調理センター、図書館、文化ホールについて、それぞれの計画策定の段階で、どんな検証がなされたのかという御質問をいただきました。調理センターについては、施設の改修や調理員の確保等を整理をしながら継続的な協議が行われてきた経過がございます。しかし、いずれの段階についても、その方向を示す、できる結論には至っておりませんでしたので、第2次、第3次の計画とも継続をして、それを検討をしていく施設として計画に位置づけてきたものでございます。図書館、文化ホールについては、具体的な協議を行うまでには至ってございません。図書館の課題としては、図書館法において、教育委員会における専門職員の必置義務といった課題も多く、その方向を判断をすることなく、続いて検討する施設として、計画上において同様の位置づけとしてきたものでございます。重ねてになりますが、全体的な組織体制も念頭に職員の配置を考えるとということになりますので、個々の施設の運営面からだけの判断ではなく、検討を進めていこうとしております。

昨年のみささこども園の指定管理者制度の導入の際にもありましたように、急激な人口減少がもたらす影響、また、受託者となる民間事業者さんの状況、さらには今回のコロナ禍のような想定をしない事象の影響もございます。様々な社会経済情勢への影響等々も今後しばらく続くとい

うふうに思っておりますので、慎重な判断が求められるというふうに感じております。

議員からは、検討の速度を上げていくためにも、仮称、民活導入検討委員会を立ち上げて、検討していったらどうかという御提案をいただきました。民間運営がやはり適する施設は、民間でしていただくということだというふうに思います。第3次の計画を進める上で、担当課だけの検討のままでは前進はしませんので、おっしゃるように、民活導入検討委員会というような組織を持って、やはりこの行動計画を推進するということは必要かというふうに思っております。民活導入ありきではなくて、多様な視点を持って検討をして、この第3次の計画期間内でその方向が出せる努力をしてまいりたいというふうに思います。

以上、答弁といたします。

○議長（清水 成真君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 今の答弁で、質問に対して的確な答えがなかったかなというふうに思ってます。1次の検証はまあ、いいです、もう10年前ですから。やれることはやったということで、2次の検証が3次にこれから生かされると。そこの検証、2次の検証がなされたかどうか、もう一度確認したいと思います。できてなかったら、できてないでいいです。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 上がってます個別に検証は、検証まで行ってないというふうに思っております。その期間内に新しい施設において指定管理で取り組んだ施設もあったりして、そういった面ではちょっと計画に上がってないもんができたりはしてますけど、正直なところ、3次に行く中での十分な検証をして、3次に上げたということではなくて、結論に至ってない、あるいは中途であったがために第3次に行ったというふうに思っております。

○議長（清水 成真君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 1次の検証の結果が2次の計画に反映されるだろうということで、一つ気になることは、平成17年の第1次のときに、民間組織を立ち上げて促進してやっていくんだということが掲げられたけど、2次、3次はそれが見当たらないということは、若干意識が後退されたのかなと思いますけど、いかがですか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 意識が後退ということかどうかは分かりませんが、第1次の場合は、市町村合併が元で、単独自立の町を目指したときに、三朝町を自立をするために、こういう町にしたいという一つの基本方針の中に掲げられてやってきたということになったというふうに認識をしております、その中で一番大事だったというのは、基本的にアウトソーシングできるもん

はそういう形にしていく、民間でできるものは民間でという、そういった基本的な考え方は今でも続いてはきておるといふふうに思いますが、正直、2次の全部の計画期間に関わってはおりませんでしたので、細かくは全体を把握はしておりませんが、少し、いわゆる民間に委託するということが、まだ議論が不十分だったのかなというふうな思いでございます。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） じゃあ、第2次、3次では民間の組織を促進していくんだ、立ち上げを促進していくんだということは、もうなくなったということですか。うんって言うてください。（「なくなった」と呼ぶ者あり）第1次の計画では、民間組織を立ち上げてアウトソーシングを進めていくんだというふうに計画されてたけど、2次、3次の計画ではその文言が見当たらないと。ですから、そこは検証された結果、ここはちょっと困難だなという判断されたのかなということの確認です。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 民間の組織を立ち上げて、そこに委託をするというか、私はそういう考え方よりは、そのために立ち上げるのではなくて、どちらかという、ある組織の中でそれを担っていただくということを主に置いたほうがいいのか。必要であって立ち上げるということももしかして、それは発生するかも分かりませんが、考え方が、既存の中で対応していただける形というふうな思いのほうが強かったということでございます。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） じゃあ、検証の結果、ちょっとそこは細まっていったというふうに理解します。

それから、2次の5年間、2次の検証の結果というのは最近なされてない、ほとんどなされてないというふうに言われます、確かにそうです。我々に頂いたペーパーでは、やっぱり検証らしき部分が見えない。あえて言うと、あえてそこで検証したというふうな文言が入ってるのは入ってる、ペーパーがあるんですよ。そこでは給食センターは、配送業務を委託したと。そのほかの、給食センターもだし、文化ホールも図書館も、その3施設は職員の数だけが記されておまして、どこの場でどういうふうに検証されたのかなとちょっと疑問に思ったけど、大した検討されてないというふうなので、これだと第3次の計画には反映できないだろうなというふうに思っております。検証結果が、ちょっとペーパー見ますと、調理センターに関してはちょっと分からない表現がしてあって、言いますよ。調理職員の確保が困難なときは、民間委託を含め、調理業務を継続する、これ、何のことですかね。裏を返せば、調理職員の確保ができれば、調理業務はやめる

というふうな解釈できる、これ、どういう意味か、もし分かれば、もっと分かりやすく教えていただきたいと思いますけど、分かりますかね。

○議長（清水 成眞君） 座ってください。

松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） いや、私もちょっとなかなか理解はできないんですけど、ですから、改めて調理センターについては、どこであろうと、その職員の、いわゆる、に対する対応っていうのもありますが、私が町長になってから、最初に、調理センターについての民営化っていうのも、以前からそういう動きがあったのは承知はしておりましたので、そこを現状はどうにいかいなどいうことは確認した、ちょっと覚えがあります。それで、進んでなかったんで、そういうちょっと認識は持っておりました。学校のほうに業務をちょっと傾注したいという思いがありまして、少し今の調理センターの民営化等々の議論はストップさせておりましたけど、今の3次の計画の中で、改めて今回、調理センターが、いわゆる学校給食センターという一つの位置づけとして、今回の議会でも条例改正提案をしておりますので、改めて今、さっき言いましたように、検討委員会なるものを設けて、検討のテーブルにおいてその方向性をつくっていきたいというふうに思っています。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） さっき言いました、調理センターのじゃあ文言は、頭の中で消去していいんですよね。もう一回言いましょうか。さっき我々にもらったペーパーの中に、2次の検証結果、調理センターは、調理職員の確保が困難なときは、民間委託を含め、調理業務を継続する、これ、意味が分からんだけん、消去するならしちやっただけいいんですけど、どうですかね。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 第3次の計画の議論のときに、その言葉は持ち越さないということにしたいと思います。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 第2次の検証の結果、他の2施設については、他施設の動向を見ながら手法を検討する。美しい言葉ですけども、他施設っていうのは町外の施設のことなんですかね。ちゅうことは、よそがやるなら我が町もという発想ですかね。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） いろんな意味がちょっとそこには含まれてるというふうに思ってます、

いわゆる町内の施設で考えたときに、当然、町の職員が配置をしてあったり、それから、今でいう会計年度任用職員のような位置づけの職員があったり、そういった町の施設の中での職員の配置の仕方というのを含まれると思いますし、議員が言われた、他の地域の施設を参考にする、連携まではないと思いますけど、そういった意味合いも含まれるかも分かりません、ちょっとはつきり、何とも申し上げられませんけど。

○議長（清水 成真君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） ずばり、よそがやるなら我が町もやろうということだと理解します。結局、検証が弱いと。検証が弱いのは原因は何かっていいますと、検討が十分でないからかなど。ですから、次の計画に繰り越し、引き続き検討するというようなことが想像できるんですけども、その想像は間違ってますかね。もう一回言いましょうか。検証が弱いと思ってるんです。この弱いのは何かっていうと、検討なされてないから検証できないと。だから、検討は引き続き、次の3次でも4次でも、4次はならんと思いますけども、3次の計画で引き続き検討するというふうになるしかないだろうなと思ってるんですけど、それでええですかね、間違いないですか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） ええ、そういう考え方になると思いますし、議員が質問の中で言われましたけど、いわゆる民営化全てありきではなくって、いわゆる検討というか協議を進める中で、無理だという選択肢も当然あるわけですから、やはりそういったことを踏まえて、計画の中に上がっている施設については方向づけをすべきだというふうに思っております。

○議長（清水 成真君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 第3次計画、スタートしてますけども、継続して民活を検討するとあります。その検討するっていうのと、また結論出すっていうのは違うと思いますよね。あと4年ありますよね、平成2年からスタートですから。あと4年になると、丸々20年になるですよ。20年になるような検討はあり得ない。また、さっき町長は検討委員会を立ち上げてやってもいいなというふうに言われたんで、ここは正解ですけども。しかも一般論や方向性だけじゃなしに、きちっと科学的に詰めた結論を出されるべきだというふうに思ってます。

検討の結果、民活導入は無理だという判断はあると思います、私は。行政用語ですから、無理とは言わない、困難だという判断はあると思いますけども、町長はどう思われますか。検討した結果、町長の判断として、これは無理だなと、よし、もういいと、というのは、図書館などは受託されても大きな利益は出ないんですよ。せいぜい79日ある休館日が多少減って、町民のメリットになるなど。ある図書館では365日、朝9時から夜の9時までやってる、ここはそんなこ

と無理だろうけども、少なくとも休館日が減ると。どの施設の運営費見ても、それほど削るところはないなというふうに思っとるです。ですから、検討した結果、民活導入は無理だという判断は当然あると思います。町長、どう思われますかね。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 私も議員がおっしゃるとおりだと思います。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 20年もかけないで、ぜひ結論を出していただきたいと思います。

20年というとな、ゼロ歳児で生まれた子が成人式迎えるまで検討って、こんなことはあり得ないですよ。ですから、町長、この2期目を頑張るんだと言われました。2期目までに結論を出していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 実施まではいかななくても、その方向性、結論は出すように努力をしたいと思います。

○議長（清水 成眞君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 以上で終わります。

○議長（清水 成眞君） 以上で山田道治議員の一般質問を終わります。

.....
○議長（清水 成眞君） 清掃しますので、しばらく休憩します。

午前11時26分休憩

.....
午前11時27分再開

○議長（清水 成眞君） 再開します。

次に、1番、松原成利議員の新型コロナウイルスワクチン接種対応についての一般質問を許します。

松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） 新型コロナウイルスワクチン接種対応について、町長にお伺いをいたします。

住民生活に甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、発生から既に1年が経過いたしました。この状況の中で、海外では複数のワクチンが開発され、人々への接種が行われる新たな展開を迎えております。このワクチン接種につきましては、今年に入ってから、スケジ

ジュール予想も含めまして、我が国でもいろいろ報道されておりますが、接種の方法の賛否や、また、副作用やアンケート調査結果等、様々な情報が入り乱れております。厚生労働省から示されているワクチン接種スケジュールによりますと、2月中旬の医療従事者向け先行接種を皮切りに、3月中旬には医療従事者等を合わせて、まずは400万人、続いて、4月からは高齢者3,600万人と基礎疾患のある人と高齢者施設等の従事者1,020万人、そして、最後に残ったその他の人は、ワクチン供給量を踏まえて、順次接種とされているようであります。また、厚生労働省からは住民票所在地の市町村、住所地の医療機関や接種会場で接種を受けていただきますとのことであり、事業主体は市町村単位での対応になるかと思いますが、誰もが初めてのことでありますので不安もあります。本町におきましては、誤解や混乱が生じないように、広報時点から実施に至るまで、分かりやすい説明と確実な実施に努めていただきたいと思います。

そこで、町長にお聞きしますが、コロナワクチン接種につきまして、本町ではいつ頃どのように進められるのか、対応方針や準備状況等についてお伺いをいたします。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 松原成利議員の新型コロナウイルスワクチン接種対応についての御質問についてお答えをいたします。

本町における新型コロナウイルスワクチン接種の対応方針や準備状況等について御質問をいただきました。現在の今日時点で分かる範囲でお答えをさせていただきたいというふうに思っております。町では町民へのワクチンの接種を円滑に行うために、2月に役場の中に接種の推進チームを設置をしております。全職員が協力体制をつくるということで、担当となる課は3つの課ではしておりますが、そういった考え方でチームをつくっております。そして、ワクチン接種に向かいたいということは、先ほど申し上げたとおりでもございます。

本町としても、国が示す優先順位に基づいて、まずは65歳以上の高齢者からということで準備をいたしております。直近の県のワクチン接種体制の協議会では、県内の全市町村に、これは配分が先週ありましたけど、ファイザーのワクチンを1箱、975回分を配送して、いわゆる、どうも市町村によって状況が違いますが、接種体制の検証も兼ねてということで、本町としてはスムーズな接種運営を導くという県の趣旨の説明の下に取り組んでいきたいというふうに考えております。

町内の65歳以上の高齢者の数は約2,500人ございまして、2回の接種が必要となりますので、5,000回分のワクチンが必要となってくるわけです。そういう中で、やはり議員がおっしゃいますとおり、誰もが初めてのことなものですから不安感もお持ちだというふうに思いますし、

町民の皆さんがワクチンのことでいろいろとお話をされている、そんな会話を聞くと、やはりその不安の部分も多々お話をされているというふうに思っております。外国のほうでは接種が進んでおります。国内でも医療従事者からの接種が進んでおりまして、その接種状況や副反応の情報も常に国から発表されてきております。

さきに申しました県の会議、そして、直近の情報によりますと、アナフィラキシーについては、全体では20万人に1人程度の割合で、軽症であるというふうな状況の中で、国内では本日までに3件の報告が国のほうから出されております。そういったことで、ワクチンの安全性、そして、接種の有効性についての不安ということは、いわゆるメディアによる情報発信の仕方によるところが、また大きいところもございます。そういったことから、正しい情報をきちっと捉えていただくということで、国のほうがそういったことで広報をしていくというのが、最初からそういった市町村に対しても方針が出されてきておりますので、私たちも、町民の皆さんが安心をして接種をしていただけるよう、そういった国の正しい情報を基にして情報発信をしていきたいというふうに考えております。

現時点では、本当にワクチンの確保、そして、配分、配布がいつどのように来るかということが非常に不確定でございます。そういったことから、状況が前後をしたりする場合もあるか分かりません。できる限り県等々と調整をしながら、町民の皆さんに安心をして接種をしていただけるように取り組んでまいりたいというふうに思います。以上でございます。

○議長（清水 成真君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） 前の質問者の答弁もありまして、重複する部分も多々あるかと思いますが、追加で少し質問をさせていただきたいと思っております。今、答弁をいただきました中で、65歳以上、ファイザー975回分、検証分というような位置づけではないかというふうにお聞きをしたんですが、今、私が特に問題があると感じている点は、先ほちょっと町長のほうも触れられましたですが、テレビとか新聞等の報道の傾向ということでございまして、副反応の恐怖心というか、そういったものを非常にあおるような状況が実際には起こっているんじゃないかなというふうに見ております。それによりまして、皆さんが必要以上に過度の心配をなさっているようなふうにあります。この前も地元のほうで少し高齢者の方とお話をしてみましたところが、やはり同じようなことがありまして、怖くてとても打つ気になれんというようなお話を皆さんがされておりました。このことを聞きまして、私も非常にもう、これは大変なことだなというふうなことで、この問題を少し取り上げさせてもらおうかなということにしたわけですが。町長は、今、このような雰囲気、感じておられますでしょうかね。それと、もし感じておられるというこ

とでございましたら、実際どの程度、どんなふうな思いを持っておられるでしょうか、お聞きします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） それは、何かマスコミの情報発信についてですか。

○議員（1番 松原 成利君） はい。

○町長（松浦 弘幸君） 議員が言われますように、今、本当にテレビのワイドショー、それからネット、いろんなところで出てきておまして、なかなかテレビのニュースが一番、基本的には国、私たちもそうなんですけど、マスコミに対しての報道資料として出して、それを基にしてニュースとして上げるわけですから、それが一番正しいんじゃないかなというふうに思っております。その流れの中で、私たちも町民の皆さんにお知らせをするというのが一番いいのかなということがございます。今朝もちょっと資料が届いたんですけど、いわゆる副反応の発生については、3月7日が発生日の案件、今日で3例目ですけど、きちっとペーパーとして流れてきますので、それは最初から厚生労働省のほうと打合せをしたときにお願いを最初にしたことございまして、そういった面で、国のほうもきちっと情報提供を確立しますということも言われてました。きちっと約束を守っていただいているというふうに思っておりますので、やはりそのルートできちっとお伝えするのが一番かなと思っております。

○議長（清水 成真君） 松原議員。

○議員（1番 松原 成利君） まさにそのようなことだと思います。今、三朝町のほうには正しい情報が入ってくるということでお聞きしたわけですが、ちょっと紹介をしますと、報道、いろんな世論調査とかアンケートの結果とかが出ておるわけですが、一例ですが、あなたはワクチン接種したいですかという問いに対しまして、すぐに接種したいというのがこの資料ですと10.6%でした。それから、いずれ接種したいというのが62.8%。接種したくない、これが26.6%だそうでした。そういうことで見てみますと、今、実際のところ、こんなような状況、例えば1割ちょっとの人が今接種したい。それから、6割以上が、もう、今のところはちょっと様子を見たい。安心したいっていう方と、それからやっぱり心配だという方と、それからもう一つ、3割以上の人が、多分、怖いということだと思うんですが、接種をしたくないというような状況になっているようです。こういった傾向っていうのは、三朝町のほうではつかんでおられますでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） これまでそういう調査はしたこともありませんので、実態は分かりませ

ん。当然に、議員が言われますように、不安な方は多いと思います。それで、4月の下旬から接種が開始するとしても、接種できる期間っていうのは1年ぐらいあるわけですから、その期間内で、最初不安な方は少し様子を見られたりだとか、そういうことでいいんじゃないかなというふうに思っておりますので、皆さんが一つの期間の中で、できるだけ早く接種をしていただきながら、少し不安のある人は自分の不安が拭い去ってからしていただくということも大事なんじゃないかなというふうに思います。

○議長（清水 成真君） 松原議員。

○議員（1番 松原 成利君） なるほど。ワクチンの供給量にも限りがあるわけですから、そういった考え方もあるかなと思います。三朝町っていうか、全国的にそういうことにならざるを得ん可能性はあるわけですが、そういったことで確実に進めていっていただきたいところでありま。今、ちょっと、じゃあ皆さんどういった思いでおられるかっていうの、三朝町の傾向っていうのは分かりませんですけども、その中に出ておりました記事をちょっと紹介しますと、すぐ受けたいっていう方は、やっぱり副作用よりも感染症のほうが怖いんだと。それから、生活に安全という、安心っていうか、安心感を持ちたいというようなこととですね、それから、副作用が仮に出たとしても、先に受けたほうが恐らく有利だろうと、早く対処してもらえないかっていうようなことがありまして、中には、社会的に貢献したいということで、自分に自信ができたなら積極的に役に立てるというような意見もあるようです。それから6割以上の方っていう中では、やっぱりこれは不安だということで、まずは日本国内で検証してからでないとなんかやっぱり安心できないとか、副作用や安全性が確認したら、できたら接種したい、こういったようなことが主体でありました。ちょっと変わった意見では、やっぱりほかの方に譲りたい、自分より優先度の高い人はあるわけだから、そちらのほうを優先してあげたいという考え方もあるようでした。で、3割に近い、接種したくないっていうのは、もうまさにどんな副作用があるのか分からんということとか、コロナの症状よりも副作用のほうが怖いと、この辺はちょっと非常に大きな誤解ではないかと思うんですが、そういったこととか、治験の時期が、期間が短過ぎて信用できんといったような内容のようでもございました。あと、過信っていうのもあるようでもして、自分はコロナ感染症にはかからんのだというふうに思っとるというような面白い意見がありました。

そういったことでいろんな意見が出ているわけですが、その一方で、先行接種が始まっております、医師の皆さんのアンケートのうちのはまた、これはがらっと様子が違っております、これも一例挙げますと、すぐに接種したいっていうのが何と82%だそうです。この皆さんっていうのは、自分自身がお医者さんでございますので、自分で判断ができるということで、これは

マスコミに振り回されるんじゃなくて、自分で判断をされた結果だろうというふうに私は思っとるわけです。これは非常に重要なことではないかと思ひまして、こういった、何というんですかね、コロナ感染症と、それから副反応、こういった関係のことを、やっぱり行政としても正しい情報を、マスコミに振り回されるのではなくて、正しい情報を上げていく必要があるだろうというふうに考えておひまして、私は先ほどちょっと正確な情報が入ってくるということをお聞きしたんですが、それを町民に誤解のないように分かりやすく提供していただけるような何か広報の方法とか、そういったことを提案したいところなんですが、そういったことにつきましては、町長、いかがでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） やはりそれは一番迅速なのは、テレビのニュースだとか新聞記事だというふうに思っておりますし、その部分では、国が出した発表資料に基づいて正しい発表が行われますので、それが一番だというふうに思ひます。

○議長（清水 成眞君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） そうですね、その正しい情報、それが正しい情報であればええわけですが、何といひますかね、評価をしない、批判ばかりするという傾向がどうも私はあるように思ひますので、この点については、例えば町報なり、月に1回は配られるわけですから、そういったことで、安心できるようなものをぜひ考えていただきたいというふうに思ひるところであります。これにつきましては、ワクチン接種が終わりましたら普通に生活ができるんじゃないかなというふうに私は今思っとるわけです。ブラジルの記事っていうんですかね、それでいきますと、接種を受けると95%減少しているというようなことが、今朝だったか昨日だったか報道されておひまして、まさにこの辺だろうと思ひますので、ぜひぜひ皆さんが安心して、この接種を受けていただくような広報の仕方、これについて前向きに考えていただきたいと思ひんですが、町長、いかがでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 当然、町報のほうでも必要に応じて無線のほうでも広報はしていきたいと思ひます。ただ、先ほども言ひましたように、ニュース、新聞記事は正しいものだというふうに私は思っております。その情報の流れからして。だから、議員が先ほどから言われますことが、議員はどのようなふうに思われとるかっていうのがよく分かりませんが、私と同じ気持ちだと思ひですけど、ニュースと新聞記事からそういうふうに判断をしておられると思ひですけど、まかり間違ってもワイドショーをいっぱい見られてというわけではないと思ひますが、やっぱりそうい

ったことをきちっと、国から市町までのルールとして情報発信の、情報提供のルールとしてなっていることはやっぱり大事にしたいと思います。

○議長（清水 成眞君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） ニュース、新聞記事ですね、はい、私もそここのところはわきまえておまして、もう、でも皆さんが、やっぱりテレビとって見られるとワイドショーという傾向に多分あると思いますので、このことは誤解が起きないようにニュース、新聞記事、三朝町の広報といったことでぜひ努めていただきたいところであります。

ということで、この件につきましては以上で終了とさせていただきますと思います。

○議長（清水 成眞君） しばらく休憩します。再開を13時10分といたします。（「もう1点は」と呼ぶ者あり）

もう1点は休憩後。13時10分です。

午前11時51分休憩

午後 1時07分再開

○議長（清水 成眞君） 再開します。

次に、これからの町財政と観光事業活性化について、松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） それでは、2件目のほうにかからせていただきます。これからの町財政と観光事業活性化についてということで、町長のほうにお伺いをいたします。

本町では、現在、総事業費10億円を超える情報通信基盤設備改修事業が進められておりますが、続きまして、令和4年度からは小学校新校舎建設事業が開始される予定で、こちらも全体では35億円規模の大型事業であります。これらの事業は大部分が各種補助金や地方交付税等で手当てされるものではありませんが、債務償還等を考えますと、今後の町政に少なからず影響を与えるものと思われます。特に本町の単独事業におきましては、例えば町道改修維持管理や水道事業、また生活環境改善等で、国、県のどの補助対象にも該当しない単独案件となった場合の実施は、自主財源をいかに確保するかが重要になると思われます。そこで、本町の歳入につきまして、自主財源の観点から考えますと、やはり三朝温泉を中心とする観光宿泊事業が活性化し、関係者の収入が増え、その結果として税収が増えることに期待したいところであり、そのためにいろいろな事業活性化の支援を講じることが適当だと考えます。一方で、町民の皆さんの目には、このことが温泉街や観光事業への特別扱いとして映り、しばしば批判されることも事実であります。

私は、本町は国宝投入堂を有する三徳山や、世界屈指のラドン含有量を誇る三朝温泉という観

光資源に恵まれており、このことを町民が理解し、気軽に利用し、価値を実感してこそ、十分な活用ができるのではないかと思います。そこで、町民の皆さんに利用していただき理解を深めていただくための何らかの取組が必要かと考えており、日頃からの広報活動は重要であります、加えて、例えば一つの提案として、町民の皆さん自らが旅館宿泊や入浴等、格安で利用でき、価値を実感していただけるような新たな制度をつくることで、自らも広告塔となっただけのではないかと考えるものであります。

町長にお聞きしますが、まず、1点、今後の本町の財政状況見通しをどのように想定されておられるのか。

2点目、本町における観光事業等の活性化の重要性について、一例に挙げました旅館宿泊等の利用により、町民の理解を深めていただく制度の新設について、また、何かお考えをお持ちではないかお尋ねいたします。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 松原成利議員の、これからの町財政と観光事業活性化についての御質問にお答えをいたします。

議員からは今後の町の財政状況の見通しについての御質問をいただきました。財政状況見通しですが、現在、情報通信基盤整備改修事業が進められております。小学校新校舎建設事業は、実施設計に着手をし、令和4年度着工予定で進めております。小学校新校舎建設に際しては、昨年末に策定をした小学校施設等整備基本計画において、財政推計の資料もお示しをしたところでございます。この推計に当たっては、維持補修的な事業については、毎年2億円程度を継続的に実施をすることを前提として算定をしているところであります。財政への影響は皆無ではないものの、必要な事業を継続実施できる計画としているところでございます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行によって、税収の減少等が見込まれるところでありまして、今まで以上により一層の経費節減に努め、事業の必要性を見極めながら、集中的な事業実施に取り組んでいく必要があると考えております。

次に、議員からは観光事業活性化のための町民皆さんに向けた新たな制度についての御意見と私の考えについての御質問もいただきました。私も、日本遺産に認定をされた三朝温泉、三徳山を地域の誇りとして思っただけでなく、何よりも実感していただくことは非常に大事なことだというふうに思っております。議会からも、これまでも町民の皆さんが温泉に入浴をしやすい環境、方法ができないかと、方策ができないかというお話も多々頂戴をしてまいりました。そんなこともあって、昨年8月からは毎月26日をお風呂の日として、町民皆さんを対象にした旅館の日

帰り入浴料金の割引を始めております。バイオリン美術館では、町民の通常の入館料が無料でございますし、子供たちのコンサートといったものを提供しておられます。温泉宿泊を実感するという点では、3月に入ってウエルカムみさき温泉キャンペーンとして、町民の方をほかより1か月優先をして旅館や飲食店、観光施設等の割引を始めております。旅館組合の沖田理事長は、地域の一員として旅館、ホテルにできることは協力をしていきたい。地域と密接に関わりながら、ふだんから気軽に温泉を利用していただける三朝温泉でありたいというふうに、機会あるごとに申しておられます。こういったときに、町民の皆さんにも、利用して宿泊されて三朝温泉を理解をしていただくということも、議員が言われる理解を深めると、深めていただくということになるのではないかと思います。

また、町の子供たちが地元を誇りを持って、将来三朝町に住みたいと、住み続けたいと思ってもらうことも大変重要だと思っております。一昨年、本町で開催をしました温泉を活用した健康づくり全国大会での発表をきっかけに、三朝小学校では三朝温泉を知る学習を始めました。また、先日は、三朝中学校生徒による三朝町の未来を語る会も開催をしております。このように、三朝町の未来を担う子供たちが、町のいいところに気づいて、大切に育てていく、そういったこと、そういう機会をつくっていくことが私たちにとって重要なことだと感じております。さらには、地域資源である温泉を健康づくりや介護予防等に活用して、町民皆さんの豊かで健康的な生活につなげていくということも必要だというふうに考えております。今後も、観光業に関わる皆さんだけではなくて、町民皆さんとともに、温泉の恵みを実感できるまちづくりを進めていきたいと思っております。これらのことは地方創生の総合戦略として、今後、具体化を進めていきたいというふうに思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（清水 成真君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） まず、今、2つの観点から私、質問をさせていただきましたんですが、本町の財政の自由度を上げるということから考えますと、言い方を変えますと、豊かな観光資源を生かした事業を活性化して、税収を増やして自主財源を確保しましょうということと、それからもう一つは、そのためには、町民の皆さんの観光事業に対する理解を深めていただけるような、体験ができるようなものを用意したらどうでしょうかというような観点でお話をさせていただきましたんですが、午前中の町長のお話にもありましたんですが、この辺のことについては、すーは一温泉ですとか、それから現代湯治関係のような、そういったことの答弁からも、基本的な考え方は同じではないかと思うんですが、町長、私が言うような内容は町長も同感というふう

に考えてよろしいでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 基本的な考え方としては同じであります。

○議長（清水 成真君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） それを確認をさせていただいた上で、このたび提案というか、そういったことで上げさせていただいた中に、先ほども出てきましたが、ウエルカムみさき温泉キャンペーンとかですね、それからもう一つ、20%プレミアム付お楽しみ前売り券の販売っていうのも今されておりまして、こういったものを今後町民向けに、例えばできるだけ固定化をして、年中利用できる制度をつくるというようなことについては、お考えはいかがでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） キャンペーンとしてやる場合に、年中、年間を通してということは、なかなかキャンペーンで見たときの効果は薄いような気がします。ただ、今回のコロナ禍で一つ得た教訓としては、先ほども紹介をしていただきましたけど、キャンペーンの中に、町民が優先であったり、町民に主体を、ちょっとターゲットといいますか、そういう部分も定めた形でキャンペーンを一般の観光客と併せて展開をするというのは、これから活用をしていく面ではないかなというふうに思っております。

○議長（清水 成真君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） そうですね、そうだと思います。そこで、そういうことから、修学旅行のことを考えてみましたら、これが非常に私はよかったなと思うんですね。中学生の修学旅行を町内で宿泊をしていただくというようなことだと思うんですが、こういったものの、町民に知っていただくということで、大人向けのこういった企画っていうのはできないものでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 企画も一つの方法かと思えますし、企画でなくっても、今回、こういったキャンペーンを機会にして、例えて言えば、三朝温泉に宿泊をしていただく方が多くなったとすれば、通常の中でそういう行きやすいという雰囲気ができたんじゃないかなと、そういうのが進んでくれば、それも一つの方法かなと思っておりますし、その都度、じゃあ、例えて言えば、特典をつけてということになれば、今回はコロナ対策でそういう中での展開はしましたけど、通常ベースに戻ったときには、やはり全体の観光の中での三朝温泉全体の予算、町や旅館組合等々含めての枠内で、こういった形でやるかという戦略的なものになってくると思えます。それは今

後、今の状態、今のそういったキャンペーンの反省を踏まえて、コロナが終息した段階、あるいは今のキャンペーンを検証する中で、一つの次に向かうステップとして議論してはどうかというふうに思います。

○議長（清水 成真君） 松原成利議員。

○議員（1番 松原 成利君） 時間がなくなりましたが、最後に、町民への健康の気遣いとか、それからあと、やっぱり理解していただいて、しっかりこの観光に対する投資ができるような方向のことをこれから考えていくべきだろうというふうに私は思っております、最後にちょっとそこのところをもう一度確認していただいて、私の質問を終わりとさせていただきたいとします。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） ちょっとびっくりして答えを忘れてしまったけど、そのように、そういった方向で、これから温泉を健康活用ということで進めてまいりたいというふうに思っておりますので、議員並びに議会の皆さんもそういったことに御理解を賜ればと思います。以上です。

○議長（清水 成真君） 以上で松原成利議員の一般質問を終わります。

○議長（清水 成真君） しばらく休憩します。掃除をいたします。

午後1時25分休憩

午後1時25分再開

○議長（清水 成真君） 再開いたします。

次に、5番、山口博議員の新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施についての一般質問を許します。

山口博議員。

○議員（5番 山口 博君） それでは、新型コロナウイルスのワクチン接種の円滑な実施について町長にお伺いいたします。

2月12日にワクチンの第1便が成田空港へ到着したとの報道に続いて、2月14日にはファイザー社製ワクチンの国内で初めての承認、17日には医療従事者に対する接種が開始され、ようやく日本でのワクチン接種の実施に向けた動きが始まりましたが、かつて経験したことのない巨大なプロジェクトに対して、昨今のマスコミ報道によると、不確実な部分が多く、接種実施にはいろいろな課題や懸念材料が提起されています。高齢者に対する接種は4月以降開始と言われ

ていますが、全国では約3,600万人、鳥取県では約17万6,000人、三朝町では約2,300人の65歳以上の対象者に予定どおりに実施するためには、必要なワクチンが確実に供給されるのか、また、接種に必要な人的、物的体制は大丈夫なのかなど、懸念材料に事欠きません。

私たち高齢者にとっての最大の関心事は、いつどこでどのように接種してもらえるかという点に集約されます。さらには、先行実施の外国で副反応事例が報告されており、接種を受けるのか受けないのかの判断に悩んでいる人や不安に感じている人も多いことと推察いたします。本町においても、十分な情報がない中、円滑な接種のために多岐にわたる準備が鋭意行われていることと思います。本町では、接種に向けて新たな準備室等は設けずに既存組織で対応することと多忙とは推測しますが、新たな情報が来た場合は、速やかに町民に向けて提供、例えば臨時広報の発行、配布や接種に関する町民の心配事に対応する相談窓口や専用電話の設置などもぜひ考えるべきと考えます。全ての点でまだまだ不確定なことが多いワクチン接種事業ではありますが、円滑に、町民誰もが安心してワクチン接種を受けるため、町長は、私の提案を含め、どのように取り組もうとしておられるのか、見解をお伺いいたします。

○議長（清水 成真君） 答弁、松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 山口議員の新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施についての御質問についてお答えをいたします。

議員からは、町民の方が安心してワクチン接種を受けることができるよう、円滑なワクチン接種のため、町民の方への情報発信と不安を払拭するための相談体制について、提案も含め、御質問をいただきました。議員が質問の中で言われましたとおり、ワクチンの確保や時期など情報が刻々と変わる状況の中で、接種体制の準備を行ってきているところであります。現状において、町としても町民の皆様、いつどこで誰がどのように接種をされるのか、具体的にその方法を示すことがまだできない状況であります。ワクチンの接種についての新しい情報、町の接種方法について、確定したことはホームページや町報、防災行政無線、ケーブルテレビ等を活用して、速やかに町民にお知らせをしていくこととしております。そのほかにも区長会などの機会を活用することや、議員から提案もいただきましたとおり、必要に応じて臨時的なお知らせ等を発行することになるかと思っております。区長会でもお願いをしなければなりません、月の中途でもその必要がある場合は、文書等による配布対応も考えております。

ワクチン接種に関する安全性や有効性についての御相談は、厚生労働省及び県のコールセンターで対応していただくこととしております。町民の皆さんからの問合せ、予約等々あると思っております、そのような窓口、専用電話は設けることとしております。

いずれにしても、皆さんが安心してワクチン接種を受けていただけるよう、確実な接種準備と広報を進めてまいりたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（清水 成眞君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 今般の質問の通告は2月の15日頃にやったもので、その後、かなり情勢が変わってきております。私が今日申し上げた質問の中では、接種の推進体制は既存の組織でやるということだったんですけども、2月の25日にはプロジェクトチームをつくられたということで、その辺はどのようなことからそのように組織を新たに組まれたか、ちょっとその辺を聞かせてください。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） これまでも国のワクチン接種の手順とか、いろいろ示されてきました。そして、県のほうでも知事、そして県内の市町村長との会議の場においても、県のワクチン接種の体制、そういったことも明確になってきたり、それから琴浦町ではワクチン接種の訓練もされて、そういった情報も踏まえて、本町の中で健康福祉課をベースにして準備はさせてきましたけど、やはりマンパワーと横断的な連携、例えて言えば広報の部分になれば企画課が対応するだとか、そういった対応が必要となることで、プロジェクトチームを3課、3つの課でつくりました。特別にセクションを設けて辞令を交付するというやり方をされてるところもありますけど、人を固定してしまうと、また業務が増えたときに割と行動範囲が狭くなってしまうというのもあって、課単位ですとそれだけのその課のメンバーが関わることというふうにもなりますので、今のチームとしてはそういう考え方で取り組む、そういったような状況を踏まえて設置をしたということになります。

○議長（清水 成眞君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） ちょっと私、訂正するのを忘れてましたけども、町長答弁、それから藤井議員の質問のときに、町内の高齢者の数が2,500人ということでしたんで、私はちょっと平成27年のときのデータ使ったもので2,300と書いておりますけども、そちらの新しいほうのデータの2,500のほうに修正させていただきたいと思います。

先ほど町長のほうから、いろいろ庁内の職の横断的な形でプロジェクトをつくったということで、またこれは、今後進めるためには非常に円滑にいけるのではないかなというふうに期待するところでございますけども。それから、情報提供につきましては、さきに牧田議員とか藤井議員、それから松原議員の質問等でいろいろ答弁がありましたので、重複する部分はあるかと思えます

けども、やはり一番身近なところからの情報っていう点においては、町が発出する情報もやはり大事ではないかなと思います。ただ、やはり現状の町報でいきますと、月に1回しか発行されませんから、やはり臨時号とか、もちろん放送であったりとか、L字放送でもあるでしょう、そういうものを大いに活用して、不安を取り除くようにぜひ考えて、きめ細かな対応をやっていただきたいなというふうに思っております。

それから、これ、今準備が進んでいると思いますけども、接種券の配布がこれから3月の下旬に始めるっていうことでしたけども、この発送の仕方について、私はやっぱり注文しておきたいと思いたすのが、実は河野担当大臣が、例えば一斉に対象者に送ったりすると、一斉に受付っていうか申込みが来て、パニック状態っていいですか、パンク状態になっちゃうんではないかなっていうような話を懸念しておられました。そういう点におきまして、例えば町内でも高齢者だけでも2,300人あれば、そこに一斉に送っちゃったりすると、もう電話が殺到するとか、そういうことはあり得るだろうと思うんですね。そういう点について、具体的にはどのような形で、例えば集落ごとに出すのか、あるいは高い年齢ごとに出していくのか、その辺はどのように考えておられるのか、今の時点で。

○議長（清水 成眞君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） まだそこまできっちりと決めたわけではありません。今、議員が言われましたとおり、非常に、最初、高齢者から、65歳以上の方から接種券を出すんですけど、やはり集中するということは懸念をしております。分けるという手段もあるわけですけど、高齢者施設におられる方はその施設でされるということになってきますし、それから、町が集団接種をする場合の日程ですね、それはお医者さんの日程に合わせないけんというのがあって、基本的には週末、休みの日になるわけですけど、もしかしたら温泉病院さんなんかは平日でも対応していただける場合があるかも分かりません。そういうことを、今、もう少しまだ整理ができておらんもんで、そういう整理をして、本来でしたら、そういうのが分かったワクチン接種券を3月の下旬に送る予定ではありまして、本当は、最初の予定は、そこにスケジュールの、接種のスケジュールが、ワクチンが来るということだったので、入れば、日程もつくれるし、そういう面では整理、調整しやすいかなっていうふうに思っていましたですけど、ちょっとそこまで、これがワクチンの接種券なんですけど、これがこういった中身で、これが接種券で、こういうふうにとじて送るんです。中にそういったものが一緒に入れられるようになってるんですけど、ちょっとスケジュールが狂ってしまって、それが果たしてできるかなというのはちょっとまだ疑問なところがあります。そういったところで、調整はもう少し、そういったことで円滑に進めていきたいというふ

うに思っておりますので、調整のほうはもうしばらくちょっと時間かかるかなというふうには考えております。

○議長（清水 成真君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 今回、予約の受付について、予約受付システムを臨時に設置することですけれども、これは具体的にはどのようなものなんでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） その辺は担当課長のほうから答弁をさせますけど、今、分かっとる範囲でということで御了解願いたいと思います。

○議長（清水 成真君） 矢吹健康福祉課長。

○健康福祉課長（矢吹 和美君） 受付予約につきましては、臨時的というか、今、全く使っていないので、受付予約システムというシステムを入れまして、電話等の予約受付を受けましたら、そちらのほうに、集団接種の日にちですとか時間とかがありまして、そこに住民さんの情報を入れていくというようなシステムでございます。

○議長（清水 成真君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 今回、1箱のワクチンを三朝町は4月19日以降の週にもらうという形ですけれども、これは2回接種すれば四百八十何人かの人間にできるというふうに新聞情報では聞いておりますけれども、これは町内の医療従事者の辺が優先接種の対象になるんでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 医療従事者については別枠でワクチンは来て、接種はもう別でやりますので、これは住民用ってことです。

○議長（清水 成真君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 接種を待っておられる人に対しては、この487人ぐらいだったら非常に限られちゃうんで、かなりのその辺の選択が難しいのではないかなと思いますけれども、その辺は、今のところはまだ具体的には、例えば高齢で基礎疾患がある方を最優先にするとか、その辺の設定はどうでしょうか。

○議長（清水 成真君） 松浦町長

○町長（松浦 弘幸君） 今の数が4月19日の週っていうのが先週決まったことでございます。全部の市町村がその基準でございますので、知事も先般の会議で言っておられましたけど、ある面で、接種の試行的な意味合いも含めて今回は対応するというようなことを三朝町としてもやりたいなというふうに思っております。ですから、ちょっとまだ医療関係者とも詰めないけんこ

ろはあるですけど、例えて言えば、高齢者施設の部分と、それから集団接種の部分に分けて接種をしたらどうかと、それで、その接種の一つの体系を少人数の中でやってみて、つくってみて、本格化したときに役に立てていきたいと。正直、お医者さんも医師会のほうで先般研修を受けてきたと、注射の打ち方の研修を受けてきたというふうに言われておまして、そういうふうな状況でございますから、副反応の後の観察も含めて、やっぱり円滑にいくかどうかということも最初に、このワクチンが来たときの人数を制限をして、試行という形でやっていきたいと。それで、あと、対象者をどうかするっていうことは、もうしばらくちょっと検討させていただきたいと思います。

○議長（清水 成真君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 町内の高齢者全員にワクチンを打とうかと思うと、恐らくですけど5箱ぐらい要るんじゃないかなというふうに思いますけども、そういうことになると大分先の話になっちゃうかも分かりませんが、予約の際に、例えばインフルエンザなんかのときだと、複数の人数でしないとワクチンが無駄になるということもあるんで、例えば今回予約した人が、都合が悪くなって打てなくなったっていうようなときなんかはすぐ代替の人が入れるように、例えば第2希望とか、接種予約する際に、そういうことも考えておく必要があるんじゃないかと思えますけども、その辺はどうでしょうかね。

○議長（清水 成真君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 当然のことだというふうに思っております。それで、いわゆるキャンセル待ちみたいなことになるのか、もう一つは、何日か前に予約がキャンセルになった場合は入れられるんですけど、当日キャンセルになった場合は、希釈して注射器入れてからの時間が、今度、限られてきますので、それで、それを無駄にしてしまうというのはどうかと。これはまた町が実施計画を定めたときに議会の皆さんにも御意見を頂戴はせないけんと思えますけど、そういった場合については、少し高齢者の基準から外れても、近くの時間内に接種できる人を確保するというか、対象にするとか、そういったことも場合としては考えておく必要もあるかなと。そうそうよけはないとは思いますが、ワクチンを効果的に有効に使うというのは、そこまで考える必要があるかなというふうに思います。

○議長（清水 成真君） 山口議員。

○議員（5番 山口 博君） 町民が安心して円滑に接種を受けられるように、万全の体制で手抜かりのないように御準備いただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

以上で終わります。

○議長（清水 成眞君） 以上で山口博議員の一般質問を終わります。

○議長（清水 成眞君） 以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午後1時44分散会
